

# 第2次宝塚市行財政運営アクションプラン

【平成28年度（2016年度）～令和2年度（2020年度）】

平成28年（2016年）7月 策定

平成29年（2017年）6月 改訂

平成30年（2018年）5月 改訂

平成30年（2018年）10月 改訂

令和元年（2019年）7月 改訂

令和元年（2019年）10月 改訂

## I 第2次宝塚市行財政運営アクションプラン

第2次宝塚市行財政運営アクションプラン（以下「アクションプラン」という。）は、「第2次宝塚市行財政運営に関する指針」に掲げる推進項目に基づき、令和2年度までの5年間の具体的な取組（以下「取組細項目」という。）を定め、その進捗管理を行うものです。

また、緊急対策として平成28年度から平成30年度までに生じる財源不足約34.6億円を解消し、健全で持続可能な財政基盤を確立することを目的に、平成28年2月に定めた「行財政運営に関する重点取組項目」をアクションプランの取組細項目として掲げ、その取組を推進しています。

取組細項目については、毎年度、達成度、進捗状況、効果等を検証、公表し、次年度以降の取組に反映させるとともに、社会経済情勢など行政を取り巻く環境の変化に応じて、追加、変更するなど、柔軟かつ適切に取り組んでいきます。

5年間の効果見込額は次のとおりです。

5年間の 効果見込額	一般会計	86.6億円
	特別会計国民健康保険事業	4.3億円
	特別会計介護保険事業	0.4億円
	特別会計宝塚市営霊園事業	1.0億円
	特別会計農業共済事業	0.1億円
	水道事業会計	14.6億円
	下水道事業会計	22.7億円
	病院事業会計	4.0億円

※ アクションプランの取組細項目は、一般会計、特別会計、公営企業会計の順に掲載しています。

※ アクションプランの取組細項目の中には、協働の取組など効果額を目的としていない項目や、具体的な実施手法が決まっていない項目、関係団体との合意形成や検討に時間を要する項目なども含まれており、これらの項目については効果見込額の積算が困難であるため、「-（ハイフン）」としています。

これらの取組細項目についても積極的に取り組むこととしており、その具体的な取組内容や実施手法が決定することで効果見込額の積算が可能なものについては、アクションプランに効果見込額を掲げて、実現に向けて着実に取り組みます。

※ 取組細項目における効果見込額は、アクションプランを策定した平成28年度（平成27年度における現状）と各年度に掲げる指標との差による影響を積算した額となっています。

なお、市税等債権の確保など徴収率などを向上させる取組の効果見込額は、計画上、平成28年度の課税額に、各年度の指標に掲げる徴収率と平成26年度決算における徴収率との差を乗じた額です。仮に、指標に掲げる徴収率を達成しても、当該年度の課税額が社会情勢などにより下がった場合は、実質の効果額は、効果見込額と乖離が生じ、財源不足への実質的な対応が出来ない場合があります。

今後、このような変動によって影響する額などについては、別途管理を行うとともに、

毎年度の見直しなどにおいて反映していくこととしています。

## Ⅱ アクションプランの改訂について

アクションプランは、社会経済情勢など行政を取り巻く環境の変化に応じて改訂するなど、柔軟かつ適切に取り組んでいます。

令和元年度（2019年度）10月の改訂内容は、「公共施設マネジメントの推進」の指標定義の一部見直し、および「国民健康保険財政の健全化・安定化」における効果見込額の改訂になります。

「国民健康保険財政の健全化・安定化」においては、計画当初の指標としていた累積赤字の解消、平成30年度からの県広域化により財政運営の構造が大きく変わったことなどの環境の変化から、効果見込額を改訂します。

### Ⅲ 第2次宝塚市行財政運営アクションプラン体系表

目指す方向性	
推進項目	取組内容・項目
1 最適な公共サービスの追求	
(1) 市民参画と協働による行財政運営の推進	
<p>「情報発信の手引き」に基づき、広報たからづか、市ホームページをはじめ、様々な情報媒体を有効に活用し、わかりやすく効果的に情報発信し、市民との情報の共有を図ります。また、市民アンケート調査の実施や市民と行政との対話の機会を設け、市民ニーズの把握、市民と行政との認識の共有を図るほか、行政評価に市民や知識経験者など行政外部の視点に基づく意見・提案・評価を取り入れ、協働の取組を充実させるとともに、効果的な運用を行います。</p> <p>様々な課題やニーズに対応するためには、市の施策の企画から評価に至るあらゆる段階において、市民の参画や協働の取組が必要です。</p> <p>協働による行財政運営を推進するため、「協働の指針」に基づき市民と行政とが対等の立場で、互いに責任を持って、役割を分担しながら、協力して施策、事業を展開します。</p> <p>また、協働による行財政運営に向けて、部署間の連携を推進し、協働が必要なあらゆる分野における協働型の事業の検証を行うとともに、協働型事業の拡大を目指す仕組みを検討します。</p>	
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市民と行政との情報の共有</li> <li>② 市政への市民参画の推進</li> <li>③ 協働のための環境整備</li> <li>④ 協働の推進</li> </ul>
(2) 効果的で効率的な公共サービスの提供	
<p>公共サービス分野における新しい公共の視点を踏まえながら、行政の役割・責任を再確認し、行政資源を効果的、効率的に公共サービスに投入します。</p> <p>また、職員一人ひとりの着実な事務改善の積重ねにより、質の高い公共サービスの提供を目指します。</p>	
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事務事業の見直し</li> <li>② 受益者負担のあり方の検討</li> <li>③ 補助制度の見直し</li> <li>④ 広域行政(連携)の推進</li> <li>⑤ 働き方改革の推進・職員の生産性の向上</li> </ul>
(3) 公共施設マネジメントの推進	
<p>「公共施設マネジメント基本方針」に基づき、公共施設の長寿命化や施設保有量の最適化など、資産として最適に維持管理し、有効活用を図るとともに、施設の設置目的、利用状況を検証し、効率的な施設運営を行います。</p>	
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公的施設の運営の適正化、公的施設のあり方の見直し</li> <li>② 市有財産の有効活用</li> <li>③ 指定管理者制度の活用</li> </ul>
(4) 新地方公会計制度への対応	
<p>新地方公会計制度に対応するため、統一的な基準に基づいて財務書類を作成します。市民や市議会に対し、財務情報をわかりやすく開示することにより説明責任を果たすとともに、資産・債務管理や予算編成等に有効に活用することにより、マネジメントを強化し、財政運営の効率化・適正化を図ります。</p>	
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新地方公会計制度への対応</li> </ul>
(5) 行政マネジメントシステムの効果的な運用	
<p>行政評価に市民や知識経験者をはじめとする行政外部の視点を取り入れ、事務事業の企画・実施が適正に行われているかチェックし、効果的・効率的な施策展開に取り組んでいます。</p> <p>行政評価を核として、実施計画の策定や予算の編成、組織体制などを有機的に連動させるとともに、施策や事業の優先度の決定、事業の選択と集中、財源や人材の適正配分など、行政マネジメントシステムの効果的な運用、改善に取り組めます。</p>	
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行政評価の運用改善</li> <li>② 行政評価を核とする施策運営、事業の展開</li> </ul>

### Ⅲ 第2次宝塚市行財政運営アクションプラン体系表

目指す方向性	
推進項目	取組内容・項目
<b>2 質の高い行政運営の推進</b>	
(1) 職員の資質、能力の向上	<p>職員の資質や能力の向上のため、職務のスキルアップを図る様々な研修、職員として身に着けておくべき接遇に関する研修、公務員倫理に関する研修等を引き続き実施し、市民の期待に応える職員の育成を進めます。</p> <p>また、人事評価制度を活用して意欲と能力を持った人材を育成し、職員が能力を存分に発揮できるような適材適所の配置を行い、意欲を持って職務を遂行することにより、活力のある職場風土を醸成します。</p>
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 人事制度改革</li> <li>② 人材育成の推進</li> </ul>
(2) 機能的な組織づくり	<p>これまで本市では、危機管理体制の強化や福祉施策の充実などのために組織の見直しを行ってきました。今後も、市民の多様なニーズなどに適切かつ迅速に対応できるよう、適時適切に組織、機構の見直しを行い、機能的な組織づくりを行います。また、プロジェクトチームの設置などのように、広範な行政課題に機動的、効率的に連携して対応する弾力的な組織運営を行います。</p>
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 機能的な組織づくり</li> <li>② 弾力的な組織運営</li> </ul>
(3) 定員・給与の適正化	<p>これまで本市では着実に定員の適正化に努めており、類似団体との比較において削減が進んでいる状況にあります。今後は、限られた財源の中で、多様な市民ニーズ、行政課題に対応するため、民間活力の活用の推進や計画的な職員の採用という視点で、定員の適正化に取り組むこととします。</p> <p>国の人事院勧告、県の人事委員会勧告、類似団体及び近隣市の動向を踏まえつつ、給与制度の見直しを行うなど、引き続き、給与の適正化に取り組めます。</p>
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 定員管理の適正化</li> <li>② 給与の適正化</li> </ul>
(4) ICT(情報通信技術)の活用及び環境への配慮	<p>スマートフォンやインターネット、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の普及などICTは急速に進歩しており、さらに平成28年1月から社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の利用が開始されるなど、情報化社会の進展に対応するため、「宝塚市ICT戦略」に基づき、個人情報保護の対策を講じながら、引き続き情報化による行政事務の効率化を進めるとともに、地域課題の解決に向けたICTの活用を図り、効率的・効果的な行財政運営を行います。</p> <p>また、環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境に配慮した行財政運営に引き続き取り組みます。</p>
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ICTを活用した情報共有の推進</li> <li>② ICT活用体制、情報セキュリティ対策の充実</li> <li>③ 環境に配慮した行政運営</li> </ul>
<b>3 健全な財政運営の推進</b>	
(1) 財政健全化	<p>将来に過度の負担を残さないよう、地方債の発行を抑制します。</p> <p>「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく指標である健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)については、適正な水準を保持するとともに、地方債残高をはじめとするその他の財政指標については、毎年点検を行い、健全な財政の確保に向け必要な改善措置を講じます。</p> <p>国の経済見通しや税収予測などを参考に、本市の実情に沿った中期的な「財政見通し」を策定することにより、今後見込まれる財源不足などの財政状況を明らかにするとともに、財源不足に対応しながら計画的に施策、事業を実施し、将来にわたる健全で持続可能な財政運営を進めます。</p> <p>また、特別会計国民健康保険事業費の財政健全化、累積赤字の解消に向けて取り組みます。</p> <p>市税をはじめとする債権について、適正な管理を行うとともに、未収額の削減に取り組みます。また、さまざまな資産を活用するなど、新たな歳入の創出に取り組みます。</p>
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 財政健全化に向けての取組の推進</li> <li>② 市税等債権の確保</li> <li>③ 歳入の創出など歳入確保の取組</li> </ul>
(2) 地方公営企業の経営健全化	<p>地方財政健全化法に定める指標の改善と公営企業の自律的な経営改善に取り組みます。</p> <p>病院事業は「宝塚市立病院中期事業計画2014」を着実に実行しつつ、今後、兵庫県が策定する地域医療構想を踏まえた役割の明確化など必要な見直しを行い、新病院改革プランを定め、経営改善を図ります。</p> <p>上下水道事業は「宝塚市上下水道事業経営戦略」を着実に実行するとともに、宝塚市上下水道事業審議会からの答申を踏まえ、公営企業としての一層の経営努力や下水道使用料の見直しを行うなど、経営改善を図ります。</p>
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地方公営企業の経営健全化の推進</li> </ul>
(3) 外郭団体等の経営健全化	<p>市出資の公益法人や第三セクターなどの外郭団体等は、自主的、主体的に経営改革に取り組みます。また、国の指針等を踏まえ、各団体の経営状況の検証・経営改善の検討を行い、外郭団体等の経営健全化を推進します。</p>
取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 外郭団体等の経営健全化及びあり方の検討</li> </ul>

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(1) 市民参画と協働による行財政運営の推進

【取組項目】① 市民と行政との情報の共有

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
1	1	ふれあいトーク (出前講座)の 推進	市民相談 課・各担 当課					市政についての情報を発信し、市民のニーズ等 を把握し市政に生かすため、テーマメニューの整 備・充実や実施方法を工夫し、その推進を図る。	平成28年 度継続実 施	ふれあいト ーク(出前講 座)開催回数	回	55	60 51	60 38	60 47	60	60	-	-	-	-	-
2									ふれあいト ーク(出前講 座)参加者数	人	1,680	1,806 1,303	1,806 860	1,806 1,021	1,806	1,806	-	-	-	-	-	
3	2	市民との情報共 有のための動画 作成	広報課・ 各担当課					広報番組「知ってよ!宝塚」を一部リニューアル し、関係課と連携して市の施策を分かりやすく紹介 する動画を作成し、市民への貸し出しや出前講座 での活用を図る。	平成28年 度継続実 施	ユーチューブ の年間再生 回数	回	9,000	9,600 10,465	10,200 8,850	10,800 4,665	11,400	12,000	-	-	-	-	-
4	3	分かりやすい情 報の効果的な提 供手法の整備・ 充実	広報課				協働のまちづくりに資する情報を積極的に発信す るとともに、市ホームページでのオープンデータの 公開など情報共有のための有効な情報提供手法 の整備に取り組む。	平成28年 度継続実 施	広報たから づかを読む 市民の割合	%	38.6	40.5 39.9	42.4 -	44.3 35.9	46.2	48.3	-	-	-	-	-	-
5									市ホーム ページを見る 市民の割合	%	21.3	22.7 24.8	24.1 -	25.5 23.3	26.9	28.5	-	-	-	-	-	-
6									市ホーム ページのアク セス件数	千件	7,383	8,906 7,583	10,429 8,086	11,952 8,909	13,475	15,000	-	-	-	-	-	-
7									メールマガジ ンサービス 登録件数	件	7,920	8,100 9,369	8,568 9,077	9,036 9,055	9,504	10,000	-	-	-	-	-	-

【取組項目】② 市政への市民参画の推進

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
8	4	パブリック・コメ ントの充実	市民相談 課・各担 当課					市民にとって分かりやすく丁寧な制度とするた め、その活性化に向けた職員研修や市民への制 度の周知など対応策を実施する。	平成28年 度継続実 施	1件当たりの 提出意見の 平均件数	件	29	35 34	35 14	35 14	35	35	-	-	-	-	-
9	5	市民参画のため の仕組みの構 築	政策推進 課				平成30 (2018)年 度	市民が市政に参画する方法として無作為抽出に よる市民委員の選出など、新たな仕組みの導入を 検討する。	平成28年 度実施	無作為抽出 による公募 委員募集に 対する応募 率	%	-	3.0 0	3.0 3.2	5.0 6.1	5.0	5.0	-	-	-	-	-
10	6	市民と市長の語 らいの場「市民 と市長のテー ブルトーク」の開催	市民協働 推進課					市政やまちづくりに関して情報共有を図り、協働 のまちづくりを推進するため、平成25年度以降、 テーマを定めて市民と市長、市担当部職員が集ま り意見交換する「市民と市長のテーブルトーク」を開 催しており、引き続き実施する。	平成28年 度継続実 施	開催回数	回	4	4 4	4 2	4 4	4	4	-	-	-	-	-
11	7	定期的な市民意 識調査の実施	政策推進 課				平成30 (2018)年 度	定期的に市民アンケート調査等を実施することに より、市民のニーズの動向等を把握し、市政に反映 させる。	平成28年 度継続実 施	市民意識調 査の実施回 数	回	-	1 1	-	1 1	-	-	-	-	-	-	-

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(1) 市民参画と協働による行財政運営の推進

【取組項目】③ 協働のための環境整備

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
12	8	協働のマニュアルの充実	市民協働推進課					協働の指針をもとに協働事業を効果的に実施するために活用しやすいマニュアルを策定した。分かりやすい事例の追加などマニュアルの充実を図る。	平成28年度継続実施	事例集等の作成	-	協働のマニュアル本編の完成	事例集又は職員向けマニュアルの完成	事例集又は職員向けマニュアルの完成	事例集又は職員向けマニュアルの完成	事例集又は職員向けマニュアルの完成	事例集又は職員向けマニュアルの完成	-	-	-	-	-
13	9	協働のマニュアルを用いた「協働の指針」の職員研修会や市民説明会の実施	市民協働推進課					協働のマニュアルを活用して「協働の指針」の職員研修会や市民説明会を実施することにより、協働の指針の周知及び活用を図り、協働をさらに推進する。	平成28年度継続実施	実施回数	回	10	10	10	10	10	10	-	-	-	-	-
14	10	まちづくり協議会の合意形成システムづくりの支援	市民協働推進課					まちづくり協議会の組織、運営等に関する共通原則の整備に努め、組織内に執行機関(部会、役員会)とは別に、地域住民の意見を相当程度反映した意思決定ができる議決機関を設置するよう促す。	平成28年度継続実施	議決機関のあるまちづくり協議会数	協議会	9	9	12	15	18	20	-	-	-	-	-
15	11	地域ごとのまちづくり計画の見直しの支援	市民協働推進課					地域ごとのまちづくり計画の見直しを支援し、その計画を促進する。	平成28年度継続実施	計画見直しが完了した協議会数	協議会	-	-	0	10	20	20	-	-	-	-	-
16	12	コミュニティ・ビジネスの育成	市民協働推進課					コミュニティ・ビジネスの育成を図ることにより、地域の諸課題を地域住民自らが解決できる地域づくりを目指す。	平成28年度継続実施	コミュニティ・ビジネスに係る相談件数	件	169	180	185	190	195	200	-	-	-	-	-

【取組項目】④ 協働の推進 (地域団体や市民活動団体との協働、地域ごとのまちづくりに関する取組などのうち、主なものを掲載)

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
17	13	公園アドプト制度の推進	公園河川課	表2のNo.1				市と自治会等地域ボランティア団体との間で協定を締結し、地域のボランティア団体が主体となって公園の管理を行う。	平成28年度継続実施	管理協定を行った公園数	公園数	41	48	48	48	49	49	1,050	1,050	1,050	1,200	1,200
18	14	道路アドプト制度の実施	道路管理課	表2のNo.2	○			地元の自治会、まちづくり協議会等との協働により、道路脇の低木の剪定や、歩道の清掃などを行う。現在、西谷地域において管理協定を締結している団体の数を維持するとともに、作業内容の見直しを図るなどの工夫をしながら、参加団体の増加に努める。	平成28年度継続実施	管理協定を締結した団体数	団体数	13	13	14	14	15	15	-	117	117	234	234
19	15	地域やNPO等との協働の推進	市民協働推進課・各担当課					地域やNPO等との協働事業を推進することにより、新しい公共の領域の拡充を目指す。	平成28年度継続実施	地域やNPO等との協働事業数	事業数	624	630	660	690	720	750	-	-	-	-	-
20	16	きずなづくり推進事業補助金の効果的運用	市民協働推進課・各担当課					市民活動を行う団体が、市民意識や地域の実情に即して自主的、自発的に行うきずなづくりなどの公益的活動に対し、市が事業費の一部を補助することにより市民と市の協働のまちづくりを推進する。	平成28年度継続実施	提案件数	提案件数	15	22	24	26	28	30	-	-	-	-	-

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(1) 市民参画と協働による行財政運営の推進

【取組項目】④ 協働の推進 (地域団体や市民活動団体との協働、地域ごとのまちづくりに関する取組などのうち、主なものを掲載)

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
21	17	きずなの家事業 の推進	市民協働 推進課・ 各担当課		○			老いも若きも集える温かい地域の居場所「きずな の家」を市民団体などが開設する事業に対して助 成を行う。	平成28年 度継続実 施	きずなの家 事業の助成 件数	助成件数	6	7 7	8 7	9 7	10	10	-	-	-	-	-
22	18	総合計画の策 定	政策推進 課		○			市民と行政がまちづくりの課題や目指すべき方向 性を共有するとともに、協働により施策を推進し、 社会経済情勢の変化に対応したまちづくりに取り 組むため、市の最上位計画である総合計画を市民 との協働のもと策定する。	平成31年 度	計画策定の 時期	年度	-	-	-	-	-	令和2年度	-	-	-	-	-
23	19	非核平和都市 推進事業	人権男女 共同参画 課		○			平和を願う市民のつどい、平和映画会、平和アニ メ映画会、平和特別講演会等の企画立案、実施運 営について、市民委員で構成する平和事業検討委 員会と協働で取り組む。	平成28年 度継続実 施	非核平和都 市推進事業 の参加者数	参加者数	1,967	1,725 1,725	1,800 1,720	1,900 1,498	2,000	2,164	-	-	-	-	-
24	20	解放文化祭の 開催	人権文化 センター		○			差別や偏見のない社会づくりを目指して開催する 解放文化祭の企画立案、実施運営について、地元 団体、施設利用者、関連学校で構成する実行委員 会により取り組む。	平成28年 度継続実 施	解放文化祭 の参加者数	参加者数	6,812	6,746 6,746	3,650 5,521	6,950 6,701	7,050	7,153	-	-	-	-	-
25	21	緑化(花)活動 の推進	公園河川 課					地域の緑化団体が管理する花壇について、一年 草だけでなく宿根草や低木を用いるなどローメン テナンス、ローコストの花壇運営を目指しながら、地 域緑化団体と協働して特色ある花壇を創造してい く。	平成28年 度継続実 施	地域緑化団 体数	団体数	110	115 115	115 115	115 113	115	116	-	-	-	-	-
26	22	違反広告物除 却市民ボラン ティア活動	都市計画 課		○			屋外広告物法による簡易除却対象違反広告物に ついて、市が行う除去・回収に加えて、景観保持の ために、地域の市民ボランティアが除却活動を行 う。	平成28年 度継続実 施	認定した活 動団体数	団体数	8	8	11 7	15 7	19	22	-	-	-	-	-
27	23	いきいき百歳体 操の実施	高齢福祉 課		○			高齢者が要介護状態になることを防ぐため、また 要支援・要介護認定を受けている方も、できるだけ 住み慣れた地域で過ごし続けるために、老人クラ ブ・自治会・マンション管理組合・サロンなどで、住 民主体の介護予防活動に取り組む。	平成28年 度継続実 施	実施箇所数	箇所	44	72 69	99 101	106 127	113	120	-	-	-	-	-
28	24	健康づくり推進 員制度	健康推進 課		○			健康づくり推進員の活動を支援するとともに、地 域での介護予防などについての教室実施の参加 者募集などを実施してもらい、介護予防の活動を 支援する。	平成28年 度継続実 施	健康づくり推 進員への研 修会	回	3	3 3	3 3	3 3	3	3	-	-	-	-	-
29	25	乳幼児健診の 未受診児等訪 問制度	健康推進 課		○			民生委員・児童委員に対し、受診勧奨や子育て 状況の把握を目的として、乳幼児健康診査未受診 児への家庭訪問を依頼するなど、協働で育児支援 に取り組む。	平成28年 度継続実 施	4か月健康診 査受診率	%	98.0	98.0 97.5	100.0 98.8	100.0 98.4	100.0	100.0	-	-	-	-	-

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(1) 市民参画と協働による行財政運営の推進

【取組項目】④ 協働の推進 (地域団体や市民活動団体との協働、地域ごとのまちづくりに関する取組などのうち、主なものを掲載)

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
30	26	地域による宝塚市立子ども館の運営	子ども家庭支援センター		○			第6ブロックの3つのまちづくり協議会が、「地域の子育て支援事業を地域が主体的に取り組む」という共通の目的のために立ち上げた第6ブロック子ども館協議会により、3つの子ども館の運営を行う。	平成28年度継続実施	子ども館数	館	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-
31	27	宝塚を美しくする市民運動	環境政策課・生活環境課					市民が地域ぐるみで清掃活動を行い、行政が清掃用品の提供やごみの回収を行う。また、自治会や関係団体と共同で行うキャンペーンに対し、啓発グッズの提供など都市美化の普及啓発の支援を行う。	平成28年度継続実施	一斉清掃の参加者数	人	65,000	66,000 67,831	67,000 69,032	68,000 66,889	69,000	70,000	-	-	-	-	-
32	28	宝塚を美しくする市民運動(道路側溝土砂清掃)への市民参加の促進	道路管理課					宝塚を美しくする市民運動(市民一斉清掃)の主旨・効果等について一層のPRを図ることにより、市民と連携・協力した道路側溝清掃活動などによる都市美化を推進する。	平成28年度継続実施	土砂回収・処理量(年間)	トン	77	78 97	79 108	80 97	81	82	-	-	-	-	-
33	29	再生資源集団回収奨励金交付制度	クリーンセンター管理課		○			古紙、布などの再生資源の集団回収を実施する地域団体等に対し、再生資源回収奨励金を交付することにより、ごみの減量、集団回収の推進、再生資源の資源化の確保及びごみ問題に関する意識の高揚並びにコミュニティ活動の振興を図る。	平成28年度継続実施	実施団体数(登録団体のうち、実際に活動している団体数)	組	368	368 367	368 365	368 369	368	368	-	-	-	-	-
34	30	宝塚サマーフェスタによる市民交流の促進	商工勤労課					出演団体等で組織する宝塚フェスタ実行委員会が主体となり宝塚サマーフェスタを開催し、市民同士の交流や絆づくりをより一層促進する。	平成28年度継続実施	入場者数及び参加者数等	人	26,000	26,000 26,000	26,000 26,000	26,000 30,000	26,000	26,000	-	-	-	-	-
35	31	応急手当普及員による救急講習の推進	救急救助課					救命講習を実施する指導者として応急手当普及員を養成し、普及員による地域、事業所などでの救命講習を積極的に展開することによって、受講者(バイスタンダー)数の増加を目指し、市民の救命救護力の向上を図る。	平成28年度継続実施	普及員資格習得者数	人	76	86 89	90 94	94 100	98	100	-	-	-	-	-
36	32	学校園安全推進事業	学校教育課					地域と連携した防災訓練を行い、自主防災組織と学校の連携を確認し、児童生徒と地域の方が協力し、土のう作り訓練や段ボールベッド作成訓練、炊き出し訓練などを行う。	平成28年度継続実施	地域と連携した防災訓練を行った学校数	校	26	31 31	37 33	37 34	37	37	-	-	-	-	-
37	33	たからづか寺子屋事業	学校教育課					地域の人材を活用し、子どもたちの基礎学力の向上のため、学習補助を行う。	平成28年度継続実施	たからづか寺子屋事業を実施している小学校数	校	13	11 11	12 12	15 14	20	24	-	-	-	-	-
38	34	学校支援ボランティア活動の推進	社会教育課		○			各校に学校支援地域本部を設け、ボランティアによる学校支援活動を推進する。学校とボランティアの連絡・調整を行うコーディネーターについて、全小・中学校への配置を目指す。	平成28年度継続実施	コーディネーターの配置校	校	10	9 9	14 9	16 9	18	20	-	-	-	-	-
39	35	宝塚ハーフマラソン大会の実施	スポーツ振興課		○			全国から参加者を募り、市民・地域団体と協力し大会運営に取り組む。	平成28年度継続実施	協力ボランティア人数	人	758	767 767	770 726	780 686	790	800	-	-	-	-	-

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(2) 効果的で効率的な公共サービスの提供

【取組項目】① 事務事業の見直し

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
40	161	全事務事業の 再点検・見直し	行革推進 課・財政 課・各担 当課		○	平成29 (2017)年 度	平成30 (2018)年 度	すべての事務事業について、事業の費用対効果 や有効性などを検証し、事業の見直し、整理を行 う。	平成29年 度実施	見直しを実 施する事業	事業数	-	-	573	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	38	固定資産税の 減免制度の見 直し	資産税課	表1の No.1	○		平成28 (2016)年 度	社会保険医が所有する診療用家屋に係る固定資 産税を減免しているが、特定の物件について減免 することは、税の公平性、透明性に反することから 制度を廃止する。	平成28年 度実施	-	-	-	-	-	-	-	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	
42	39	市民福祉金の 見直し	医療助成 課・障害 福祉課・ 子育て支 援課	表2の No.3			平成29 (2017)年 度	障害者差別解消条例の制定による新たな施策の 実施や、障がい者施策などにおける課題の解消と 事業充実のための基金を新たに創設した上で、市 民福祉金の見直しを行う。	平成28年 度検討、 平成30年 度以降実 施	廃止年度	年度	-	-	-	-	令和元 度	-	-	163,300	326,700	326,700	162,528	
43	163	特定疾病患者 見舞金の廃止	医療助成 課			平成 29年度全 事務事業	平成30 (2018)年 度	見舞金支給事業については、国において難病法 の施行により医療費助成の対象疾病が拡充された ところであり、兵庫県下では本市のみしか実施して いない状況も踏まえて、受給者に周知した上で、平 成31年度から廃止する。	平成31年 度実施	廃止年度	年度	-	-	-	-	令和元 度	-	-	-	46,247	46,247	-	
44	167	介護ファミリーサ ポートセンター 事業のあり方の 検討	高齢福祉 課			平成 29年度全 事務事業	平成30 (2018)年 度	介護ファミリーサポートセンター事業について、元 気な高齢者により一層活躍してもらう仕組みづく り、制度設計を検討し、経費の削減に努める。ま た、当該事業については、現在市が事業委託して いるもののほか、民間で取り組まれている同様の 事業もあるため、今後の制度のあり方を検討する。	平成30年 度以降検 討	1カ月あた りの実稼働 提供会員数(年 間平均)	人	-	-	-	90	91	93	-	-	-	-	-	-
45	168	はり・きゅう・マッ サージ施術扶助 料の廃止	高齢福祉 課			平成 29年度全 事務事業	平成30 (2018)年 度	高齢者の健康増進・介護予防のために、いきいき 百歳体操などの介護予防事業や、社会参加のため にバス・タクシー料金助成などを行っており、はり ・きゅう・マッサージ施術扶助料については、利用 者などへ説明したうえで、平成31年度から廃止す る。	平成31年 度実施	廃止年度	年度	-	-	-	-	令和元 度	-	-	-	1,675	1,675	-	
46	169	生活援助サービ スの廃止	高齢福祉 課			平成 29年度全 事務事業	平成30 (2018)年 度	生活援助サービスについては、平成31年度から 廃止する。なお、廃止する際は、生活援助サービ スを利用している方が他のサービスを利用できるよう 調整する。	平成31年 度実施	廃止年度	年度	-	-	-	-	令和元 度	-	-	570	1,073	1,073	412	
47	170	社会福祉協議会 への補助金の 見直し	地域福祉 課			平成 29年度全 事務事業	平成30 (2018)年 度	平成30年度から社会福祉協議会への補助金を見 直すとともに、国からの補助金の活用を検討する。	平成30年 度実施	社会福祉協 議会人件費 補助金の削 減額(平成29 年度比)	千円	-	-	-	1,000	1,000	1,000	-	-	1,000	1,000	1,283	

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(2) 効果的で効率的な公共サービスの提供

【取組項目】① 事務事業の見直し

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
48	40	障害福祉サービスガイドラインの策定	障害福祉課	表2のNo.4	○			障害福祉サービス費が、年々増加する傾向にある中で、本市においても、平成27年度にガイドライン策定検討会を設置し、検討会の意見を踏まえ、平成28年4月にガイドラインを策定した。ガイドラインの運用については、サービス利用者の生活を考慮する必要があり、一定の過渡的な期間を要するとともに、サービス提供事業者等への周知も必要となるため、平成28年10月から運用を開始した。また、障害福祉サービス費の適正化については、ガイドラインの適切な運用のほか、サービス等利用計画のモニタリングを行うとともに、サービス提供事業者への定期的な監査等も併せて実施していく。平成28年度に地域生活支援事業(移動支援等)のガイドラインを策定し、平成29年度から運用を開始した。	平成28年度実施	障害福祉サービス事業監査を実施した件数	件	15	18	18	19	19	20	-	-	-	-	-
49	171	地域活動支援センターや障害者小規模作業所への監査の徹底及び補助金の見直し	障害福祉課			平成29年度全事務事業	平成30(2018)年度	地域活動支援センターや障害者小規模作業所について、適切な運営、経理が行われるよう監査、指導を徹底する。県基準より上乘せしている補助金を、事業所の運営に支障をきたさない範囲で段階的に見直しを行う。	平成30年度実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50	41	電力の調達方法の見直し(全事務事業における省エネルギー、省資源の徹底)	地域エネルギー課・各施設所管課・各担当課	表2のNo.5				電力の小売り全面自由化に伴い、コスト面で優位性のある事業者だけでなく、温室効果ガスの排出係数が低い事業者、再生可能エネルギーでの供給量が多い事業者など、様々な事業者や契約形態が出てくることが予想されるため、多角的な見地から全部署の事務事業における省エネルギーや省資源の徹底、各担当課の電力調達の現状が最適なものとなっているかについて、確認、見直しを行う。	平成28年度以降実施	事務事業における電力使用量	kWh	49,513,051(基準年:平成22年度)	46,938,372	44,363,694	41,789,015	39,214,336	36,639,658(基準年から26%削減)	-	-	54,442	54,442	54,442
51	42	一般廃棄物収集・運搬業務委託事業	クリーンセンター業務課	表2のNo.6			平成29(2017)年度	一般廃棄物収集運搬業務委託契約の契約方法を見直し、透明性、公平性を確保するとともに、競争性を拡充する。	平成30年度実施	契約方法の見直し	期限	見直し内容を検討している	平成30年度からの契約で実現を目指す	平成30年度からの契約で実現を目指す	平成30年度	-	-	-	-	34,872	34,872	34,872
52	43	私立保育所助成金(保育運営事業)の見直し	保育事業課	表2のNo.7	○		平成29(2017)年度	平成27年度から新しい子ども子育て支援制度に移行し、公定価格が約10%引き上げられたことから、新制度の公定価格による私立保育所の運営費の状況及び将来を踏まえた運営に要する経費について、平成27年度決算を基に阪神間各市の市負担の状況も参考にしながら、保育運営事業費補助金を含む助成制度全般の見直しを行う。	平成28年度検討、平成29年度以降実施	助成金要綱の見直し	-	-	保育園財務分析・事業者ヒアリング	事業者ヒアリング・助成金要綱改正の検討	改正助成金要綱の施行	-	-	-	-	64,836	64,836	64,836
													保育園財務分析及び事業者ヒアリングを実施	助成金要綱改正(平成30年度施行)	助成金要綱改正、施行			65,138				

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(2) 効果的で効率的な公共サービスの提供

【取組項目】① 事務事業の見直し

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
53	44	学校給食調理 員の配置基準 の見直し	学校給食 課	表2の No.8	○			平成19年度以降、見直しを行っていない学校給 食調理員の配置基準の見直しを行い、効率的な運 営について検討する。嘱託職員の退職後は、一 定数までは臨時職員で補充することにより、総人件 費の抑制に努める。(平成27年度嘱託職員91人)	平成28年 度実施	嘱託職員の 退職後、ア ルバイト職員 で補充した 人数	人	-	4	7	8		8	10	12,000	21,000	24,000	24,000	30,000
54	45	小中学校施設 開放事業	教育企画 課・小学 校・中学 校・ス ポーツ振 興課・施 設課	表2の No.9				休日、夜間の施設開放時の管理運営について は、警備会社への委託方式から利用者団体による 自主管理方式に移行する。今後の自主管理方式 への移行については、受益者負担徴収の取り組み と調整を図りながら進める。	平成28年 度検討	施設管理を 行う団体数	団体数	-	0	0	24		24	36	-	-	14,496	44,742	61,719
55	46	PPP/PFI手法導 入の優先的検 討の方針の運 用	施設マネ ジメント 課・各施 設所管課		○			平成29年度以降の公共施設整備事業について、 「宝塚市PPP/PFI手法導入のための優先的検討の 方針(平成29年3月策定)」に基づき、適切な整備事 業に努める。	平成28年 度以降実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
56	47	アウトソーシ ングの推進	行革推進 課・市民 協働推進 課・各担 当課					「宝塚市の民間活力の導入に関する基準(平成 14年5月)」に基づき、積極的に民間活力を活用し、 市民サービスの向上、事務事業の効率化を推進す る。また、市民サービスの向上とともに行政の効率 化や新たな公共サービスの担い手育成による新し い公共の領域拡充を図るため、市の事務事業を対 象に市民団体や民間事業者などから提案を募る提 案型業務委託制度の構築に取り組む。	平成28年 度継続実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
57	48	入札・契約制度 の改革	契約課					入札契約制度の改善に向け、公正な競争及び透 明性・公平性を確保するため、適正に契約事務を 進めるとともに、品質の確保や雇用・労働者福祉の 充実を図る。	平成28年 度継続実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
58	49	諸証明のコンビ ニ交付とマイナ ンバーカードの 多目的利用の 推進	窓口サー ビス課・ 市民税 課・総務 課・情報 政策課		○			マイナンバーカードの公的個人認証を用いて、コ ンビニのキオスク端末から印刷される住民票の写 しや印鑑登録証明書、戸籍全部・一部事項証明書 を発行する。また、課税証明書等の発行について 検討する。	平成28年 度実施	住民票など の証明書発 行件数に占 めるコンビニ 交付率	%	-	12.0	16.0	20.0		24.0	28.0	-	-	-	-	
59	50	生活保護者等 への無料職業 紹介所の利用も 含めた就労支援	生活援護 課					就労支援員による就職に関する相談と、仕事の 紹介・斡旋を行う。生活保護者等の就労希望条件 や能力に見合った就労支援を行い自立助長に資 する。	平成28年 度継続実 施	年間就職人 数	人	38	40	40	40		40	40	-	-	-	-	
60	172	空き店舗活用事 業補助金などの 見直し	商工勤労 課			平成29 年度全 事務事 業	平成30 (2018)年 度	空き店舗活用事業補助金などを統廃整理し、魅 力や継続性の高い店舗の出店を促進するための 新たな補助金制度を検討する。	平成30年 度実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,496	5,596	8,584

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(2) 効果的で効率的な公共サービスの提供

【取組項目】① 事務事業の見直し

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
61	174	図書館のサービス向上の検討	中央図書館・西図書館		平成29年度全事務事業	平成30(2018)年度		開館時間の延長など利用者のサービス向上に努めるとともに、指定管理者制度の研究を深める。	平成30年度実施	開館時間の拡大等のサービス向上	-	-	-	-	9時30分からの開館の実施、9時開館の検討	-	-	-	-	-	-	-
62										指定管理者制度の研究	-	-	-	-	図書館協議会に諮り指定管理者制度の研究を行う。 協議会小委員会の意見書案が作成された	-	-	-	-	-	-	-

【取組項目】② 受益者負担のあり方の検討

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
63	51	学校給食における保護者負担の見直し	学校給食課	表1のNo.2				自校炊飯を推し進めることによって、米飯給食時は、食材料費に含まれる1食当たり約27円の委託炊飯費が不要になることから、平成26年度から、その不要となった一部を光熱水費の一部として、1食当たり2円を充てることにより、保護者等からは新たな追加負担を求めている。自校炊飯は、全37校中6校が未実施であったが、平成27年度に1校開始し、平成28年度以降に残る5校を実施することにより、さらに委託炊飯費相当額が不要となることから、平成28年度は1食当たり4円、その後自校炊飯の進捗状況に応じて6円、8円と段階的に光熱水費の一部に充当する。	平成28年度実施	1食当たりの光熱水費徴収額	円	2	4	4	4	6	8	6,900	6,900	6,900	13,800	20,700
64	52	小中学校施設開放受益者負担金の徴収	教育企画課・小学校・中学校・スポーツ振興課・施設課	表2のNo.10				現在、学校施設使用料はほとんどの場合で減免しているが、他のスポーツ施設利用者との負担の公平化を図るため、使用料又は実費の徴収について検討し、その結果を踏まえ具体策を実施する。	平成28年度検討、平成30年度以降実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
65	182	受益者負担の適正化に関するガイドラインの策定と推進	行革推進課・関係課		○	令和元(2019)年度		受益者負担の適正化に関するガイドラインを策定するとともに、受益者負担額の適正化を図る。	令和元年度以降順次実施	ガイドラインの策定	年度	-	-	-	-	令和元年度	-	-	-	-	-	

【取組項目】③ 補助制度の見直し

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
66	54	補助金支出の効果に関する調査	財政課・行革推進課					宝塚市補助金交付基準に基づき、毎年度、「補助金等の支出効果に関する調査書」により補助金の効果を検証するとともに、公平性、公正性、透明性の確保を図り、適正な補助金の交付を行う。	平成28年度継続実施	年間調査回数	回	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(2) 効果的で効率的な公共サービスの提供

【取組項目】④ 広域行政(連携)の推進

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
67	55	宝塚市・川西市・猪名川町での消防広域連携促進事業	消防本部 総務課		○			平成23年度から宝塚市、川西市及び猪名川町の2市1町で共同運用している消防指令センターを活用して、2市1町圏域住民の消防サービス向上を図るため、平成27年度から救急応援体制を新たに構築し、一部の地域において相互乗り入れを行っている。また、火災応援体制や職員交流などにも取り組んでいる。	平成28年度 継続実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【取組項目】⑤ 働き方改革の推進・職員の生産性の向上

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
68	183	働き方改革の推進、業務改革などによる総労働時間の適正化	総務課・ 給与労務課・人材育成課・ 行革推進課・情報政策課・ 政策推進課・財政課・関係課		○	令和元 (2019)年 度		●働き方改革に資する取組は多岐にわたるため、関係課が連携して、職員の意識醸成や生産性の向上に資する取組など、働き方改革に関する基本的な方針と取組一覧を策定する。 ●上記「基本的な方針」と「取組一覧」の策定と並行して、既に取組を開始している以下の項目を実施する。 ・RPAやAIなどのテクノロジーを活用することで業務を改革し、総労働時間の縮減、職員負担の軽減を図る。	令和元 年度	RPAによる削減効果時間	時間	-	-	-	-	1,705	1,705	-	-	-	-	-

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(3) 公共施設マネジメントの推進

【取組項目】① 公的施設の運営の適正化、公的施設のあり方の見直し

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
69	59	公共施設マネジ メントの推進	施設マネ ジメント 課・各施 設所管課	表2の No.12	○			宝塚市公共施設等総合管理計画(平成28年7月 策定)に掲げる取組について、市民の理解や協力 を得るため情報発信や意見交換等を実施する。また、 学校規模適性化や全事務事業見直しにおける 公共施設マネジメントに関する取組など庁内で連 携したマネジメントを推進しながら、建物施設保有 量の最適化に向けた方針を市民の意見等を踏まえて 検討する。	平成28年 度継続実 施	説明会開催 回数	回	-	16	4	-	-	-	-	-	-	-	-
70										建物施設保 有量の最適 化に向けた 方針の策定 年度	年度	-	-	-	-	1	令和元年度	-	-	-	-	-
71	60	小中学校区の見直し(校区見 直し)	学事課	表2の No.11				少子化の影響で、学級数が大幅に減少している が、一部地域においてはマンション建設に伴い、学 級数が増加する学校があり、児童生徒の教育環境 に格差が生じている。宝塚市立小学校及び中 学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針(平 成28年3月)に基づき、課題のある小学校区または 地域ごとに保護者・地域・学校・行政で構成する「適 正化検討委員会」を設置し、協働の取組によって具 体的な方策を検討した上で教育環境の向上に取組 む。	平成28年 度着手	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
72	61	市立幼稚園の 配置・規模の適 正化	学事課・ 幼児教育 センター	表2の No.13				就園児数の大幅な減少を受け、市立幼稚園の適 正規模及び適正配置に関する基本方針と実施計 画を策定し、地域や未就園児を含む保護者などの 理解を得ながら、市立幼稚園の適正化に向けて取 り組む。	平成28年 度着手	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
73	62	ピピアめふ及び さらら仁川の公 益施設等の有 効活用	市街地整 備課	表2の No.14			平成30 (2018)年 度	さらら仁川とピピアめふの施設のあり方や位置づ けを見直し、それぞれの施設ごとに委託するのか、 一括して委託するのか検討した上で、競争性を確 保するため、プロポーザルや入札などにより管理 運営者を決定するよう取り組む。	平成28年 度検討、 平成29年 度以降実 施	実施年度	年度	-	-	-	平成30年度	-	-	-	-	29,860	29,860	
74	162	宝塚駅前サー ビスステーション の休日業務の 見直し及び各 サービスセン ター・サービス ステーションのあり 方の検討	宝塚駅前 サービス ステーション・窓 口サービ ス課			平成 29年度全 事務事 業	平成30 (2018)年 度	平成28年6月から証明書のコンビニ交付を実施し ていることから、宝塚駅前サービスステーションの 休日の証明発行業務を見直すとともに、各サービ スセンター・サービスステーションのあり方の検討を 行う。	平成30年 度以降実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,370	1,370	1,370	
75	164	看護専門学校の あり方の検討	看護専門 学校			平成 29年度全 事務事 業	平成30 (2018)年 度	第2次宝塚市行財政運営アクションプランにおい て入学金等の見直しを掲げていたが、事務事業見 直しの中で今後の看護専門学校のあり方を検討す ることとした。今後、市医師会からの要望を受けて 看護専門学校を設立した経緯も踏まえ、市医師会 や近隣施設、市立病院の考え方、医療介護福祉分 野における今後の看護師需要等、幅広い視野であ り方を検討する。	平成30年 度以降実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(3) 公共施設マネジメントの推進

【取組項目】① 公的施設の運営の適正化、公的施設のあり方の見直し

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
76	165	蔵人共同浴場(ほっこり湯)のあり方の検討	くらんど人権文化センター		平成29年度全事務事業	平成30(2018)年度		蔵人共同浴場(ほっこり湯)の木造部は耐震性などに問題があり、利用者の安全、費用対効果などの観点からそのあり方を検討する。	平成30年度以降実施		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
77	166	小林よりあいひろばの廃止	高齢福祉課		平成29年度全事務事業	平成30(2018)年度		小林よりあいひろばは、老朽化に加えて、耐震基準を満たしていない等の問題があり、今後、大規模な修繕や建て替えが必要となってくる。したがって、平成31年度からの保健所の移転に合わせて、よりあいひろばを廃止の方向で検討する。その際には、地域包括支援センター及び地区センターの移転先並びに利用者(団体)が利用可能な代替施設の確保等の課題についても整理する必要がある。	平成31年度実施	廃止年度	年度	-	-	-	-	令和元年度	-	-	-	-	-	7,666
78	63	宝塚自然の家のあり方の見直し	社会教育課	表2のNo.15	○			施設整備や学習プログラムの充実等により、宝塚自然の家を、より魅力的な施設とすべく、リニューアルを図る。	平成28年度実施	再開年度	年度	-	-	-	平成30年度	-	-	-	-	-	-	-
79	64	小浜宿資料館の運営方法も含めたあり方の検討	社会教育課	表2のNo.16	○			平成6年にオープンし既に21年が経過するが、近年、同館の入場者数が減少してきている。また、永年、有償ボランティアに受付業務等を担っていただいたが、高齢化によりその継続が難しくなったため、平成28年度は臨時職員を配置している。効率的な管理運営方法も含め、今後、同館のあり方について検討する。	平成28年度検討、平成29年度以降実施	実施年度	年度	-	-	-	平成30年度	-	-	-	-	-	-	-
80	65	小浜工房館の施設のあり方の見直し	文化政策課	表2のNo.17	○			施設の利用方法などの課題について、関係団体と協議を行ってきたが、課題解決への見通しが立たない状況である。このため、平成27年度末で一旦休館し、施設マネジメントの観点から転用を含む施設の利活用の方法を検討する。	平成28年度実施	再開年度	年度	-	-	-	平成30年度	-	-	-	-	-	-	-
81	173	ナチュラルスパ宝塚のあり方の検討	観光企画課		平成29年度全事務事業	平成30(2018)年度		ナチュラルスパ宝塚は、施設や配管などの設備の老朽化が進んでいるため、今後施設修繕料が増大すると考えられる。現在の指定管理期間終了後の施設のあり方を検討する。	平成30年度実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
82	66	勤労市民センターの閉鎖	商工勤労課	表2のNo.18	○		平成29(2017)年度	耐震性が不足していた勤労市民センターを取り壊し、新中央公民館の整備用地として活用する(勤労市民センターは平成29年度中に閉館予定)。	平成30年度実施	年間管理経費削減額	千円	-	0	3,191	9,975	9,975	9,975	9,975	-	3,191	9,975	9,975
83	67	旧勤労福祉会館の跡地の返却	管財課	表2のNo.19	○		平成28(2016)年度	耐震性が不足していた旧勤労福祉会館を取り壊し、関連市道等の整備を行い、跡地を財産区に返却する。	平成28年度実施	年間の地代	千円	2,138	2,138	2,138	2,138	2,138	2,138	2,138	2,138	2,138	2,138	2,138
84	68	自然休養村センターの施設のあり方の見直し	農政課・北部振興企画課	表2のNo.20			平成30(2018)年度	本来の目的である観光農林漁業振興のための利用が少なく、施設が老朽化していることから、施設のあり方を見直し、隣接する西谷ふれあい夢プラザ、西谷の森公園、宝塚自然の家など近隣施設との連携を行うなど、西谷地域活性化のための活用方法を検討する。	平成28年度検討、平成29年度以降実施	活用策や実施年度の方針決定	-	取組中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(3) 公共施設マネジメントの推進

【取組項目】① 公的施設の運営の適正化、公的施設のあり方の見直し

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
85	69	市営霊園のあり方の見直し	生活環境課		○		平成29(2017)年度	近年の墓地をめぐる価値観や社会情勢の変化を踏まえ、宝塚すみれ墓苑、長尾山霊園及び西山霊園を合わせた市営霊園全体のあり方を検討し、平成30年度から市営霊園の一体化を行うことで、市営霊園全体の財政健全化に取り組む。	平成28年度検討、平成29年度以降実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【取組項目】② 市有財産の有効活用

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
86	70	遊休資産の有効活用、市有財産の貸付などの見直し	施設マネジメント課・管財課・各担当課	表2のNo.21				市有財産で有効利用できていない資産の処分、貸付を検討し、有効活用を進める。行政財産使用許可、普通財産貸付などの際は、行政財産使用料条例や公有財産事務取扱規則に基づき、公平性や経済性の確保に努める。現在、使用料の減免や無償貸付けを行っている資産について、その経緯を調査するとともに、必要性、妥当性を検討し、使用料等を徴収するべきものについては、使用料等の徴収に向けて、関係団体との協議、調整を行う必要がある。	平成28年度継続実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
87	71	旧長尾支所跡地の有効活用	政策推進課・管財課	表2のNo.22			平成28(2016)年度	旧長尾支所跡地について、平成28年度に、公募により民間事業者への貸付けに取り組む。	平成28年度着手、平成29年度以降実施	年間使用料	千円	-	-	2,880	2,880	2,880	2,880	-	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
88	72	旧西谷教職員住宅の有効活用	施設マネジメント課	表2のNo.23	○			旧西谷教職員住宅の空部屋を有効活用するため賃貸する。	平成28年度着手、平成29年度以降実施	年間使用料	千円	-	-	360	1,440	2,880	2,880	-	360	1,440	2,880	2,880	2,880
89	74	旧中山桜台幼稚園跡地の有効活用	施設マネジメント課	表2のNo.25	○			旧中山桜台幼稚園跡地の有効活用を図るため、地域の意見を踏まえて活用方法を検討する。	平成28年度検討、平成29年度以降実施	実施年度	年度	-	-	平成29年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【取組項目】③ 指定管理者制度の活用

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
90	75	公民館への指定管理者制度導入の検討	中央公民館・東公民館・西公民館	表2のNo.26			平成30(2018)年度	新中央公民館、東・西公民館について、指定管理者制度の導入に向けて検討する。新中央公民館整備に合わせて、3館同時に指定管理者制度導入に向けて取り組む。	平成28年度着手、平成31年度以降実施	実施年度	年度	-	-	-	-	令和元年度	-	-	-	-	5,700	5,700
91	76	指定管理者制度の活用及び指定管理者制度導入施設のものタリングによる適正な管理運営の実施	政策推進課					市直営施設について、引き続き、指定管理者制度の導入を図る。宝塚市指定管理者制度運用方針に従い、指定管理者制度導入施設について、ものタリングを実施し、市ホームページ等を通じて、ものタリング結果を公表することにより、公の施設としての市民サービス水準の向上及び適正な管理運営に努める。	平成28年度継続実施	総合評価Aの指定管理者施設数	施設数	29	59	57	57	57	57	-	-	-	-	-

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(3) 公共施設マネジメントの推進

【取組項目】③ 指定管理者制度の活用

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
92	77	人権文化センターへの指定管理者制度の導入の検討	人権文化センター					人権文化センター3館について、市民サービス向上と費用負担の軽減を図るため、指定管理者制度の導入を検討する。平成28年度中に、地域関係団体との協議を行い、その実施年度も含めて検討を行う。	平成28年度 検討、 平成29年 度以降実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【推進項目】(4) 新地方公会計制度への対応(新規)

【取組項目】① 新地方公会計制度への対応(新規)

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
93	79	新地方公会計制度への対応	財政課		○			新地方公会計制度へ対応するため、平成28年度決算より統一的な基準に基づいて財務書類を作成する。市民に対し、財務情報をわかりやすく開示することにより説明責任を果たすとともに、資産・債務管理や予算編成等に有効に活用することで、マネジメントを強化し、財政運営の効率化・適正化を図る。	平成29年 度実施	実施年度	年度	-	-	平成29年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
94	80	財務状況のわかりやすい公表	財政課		○			市民や市議会に対し、財務情報をわかりやすく公表し、情報の共有化を推進する。	平成28年 度継続実 施	年間の公表 回数	回	4	4	4	4	4	4	-	-	-	-	-	-

【推進項目】(5) 行政マネジメントシステムの効果的な運用

【取組項目】① 行政評価の運用改善

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
95	81	施策評価システムの改善	政策推進課					行政評価委員会からの意見、提案を踏まえて、施策評価システムの見直しを適宜行い、効率的、効果的な運用を行う。	平成28年 度継続実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
96	82	事務事業評価システムの改善	財政課					行政評価委員会からの意見、提案を踏まえて、分かりやすさや客観性等の観点から、適宜、事務事業評価の見直しを行い、効率的、効果的な運用を行う。	平成28年 度継続実 施	職員研修の 実施回数	回	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-

【取組項目】② 行政評価を核とする施策運営、事業の展開

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
97	83	行政評価を核とする施策の推進、事業の展開	政策推進課・財政課・行革推進課・総務課・人材育成課・各担当課					行政評価を核として、戦略計画や実施計画の策定、予算の編成、行財政改革、組織体制などを有機的に連動させるとともに、施策や事業の優先度の決定、事業の選択と集中、サービス提供の方法や事業の実施手法の検討、財源や人材の適正な配分など、行政マネジメントシステムの効果的な運用により、戦略的な取組を展開する。	平成28年 度継続実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】2 質の高い行政運営の推進

【推進項目】(1) 職員の資質、能力の向上

【取組項目】① 人事制度改革

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
98	84	人事制度の充実・拡充及び研修制度との連携	人材育成課					①人事評価制度に係る苦情相談体制の整備、②部下による上司評価の実施、③係長級以下の職員への人事評価結果の処遇への反映、④再任用職員への人事評価導入及び⑤昇格選考制度の見直しを図るとともに、自己申告制度の活用や研修制度との連携により、意欲と能力を持った職員を育成していく。	平成28年度継続実施	①から⑤までの推進	項目	1	2	2	3	4	5	-	-	-	-	-

【取組項目】② 人材育成の推進

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
99	85	職員能力開発事業の充実	人材育成課					幹部職員を中心とした研究活動や外部専門講座への参加など、職員の自発性に基づく学習活動に対して必要な支援を行う。	平成28年度継続実施	年間制度活用人数	人	49	46	50	50	50	50	-	-	-	-	-
100	86	階層別研修の充実	人材育成課					政策法務能力、政策形成能力、コミュニケーション力、コーディネート力など、地方分権の時代に必要とされる職員の能力向上につながる階層別研修の充実を図る。	平成28年度継続実施	各年度の見直し研修数	件	1	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-

【推進項目】(2) 機能的な組織づくり

【取組項目】① 機能的な組織づくり

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)					
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額
101	87	機能的な組織づくりのための適宜見直し	総務部総務課					機能的な組織体制となっているか、事務分掌や職務権限等の観点から毎年度見直しを行う。	平成28年度継続実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【取組項目】② 弾力的な組織運営

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)					
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額
102	88	弾力的な組織運営の支援	総務部総務課					横断的組織として設置することで効果が見込める行政課題や行政ニーズについては、例えば、プロジェクトチームや行政課題対策グループの設置が促進されるよう取り組む。また、弾力的組織運営に資する他市の制度等について、調査研究し、庁内の連携体制について見直しを行う。	平成28年度継続実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】2 質の高い行政運営の推進

【推進項目】(3) 定員・給与の適正化

【取組項目】① 定員管理の適正化

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
103	89	定員適正化計画の進行管理	総務部総務課					これまでの計画に基づく取組成果を踏まえつつ、行政サービスの向上と効率的な行政運営を推進するとともに、必要な組織体制を確保し、整備するため、財政状況や人件費にも配慮した、適正な定員管理に取り組む。	平成28年度継続実施	正規・再任用職員数(週4日は0.8人)	人	1,483	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
104										正規職員数	人	1,351	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【取組項目】② 給与の適正化

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
105	90	行政職給料表の見直し(係長職と管理職との逆転現象の解消)	給与労務課	表1のNo.3	○		平成30(2018)年度	管理職より給与が高い係長職が存在し、役職と給与の逆転現象が生じているため、給与の逆転現象を解消するよう取り組む。また、互助会負担金に対する市負担金が適正な水準となるよう見直す。	平成28年度着手	実施年度	年度	-	-	-	平成30年度	-	-	-	-	-	10,700	34,700
106	91	55歳以上職員の昇給停止	給与労務課	表1のNo.4	○		平成30(2018)年度	55歳を超える国家公務員は、標準の勤務成績では昇給停止となるが、本市では55歳を超えると昇給幅が抑制されるものの、60歳まで昇給することになっており、国基準に合わせるため、適正化に取り組む。	平成28年度着手	実施年度	年度	-	-	-	平成30年度	-	-	-	-	-	1,300	4,200
107	92	係長の管理職手当の廃止	給与労務課	表1のNo.5	○		平成30(2018)年度	係長級の管理職手当の廃止及び総人件費の抑制に取り組む。	平成28年度着手	実施年度	年度	-	-	-	平成30年度	-	-	-	-	-	19,000	19,000
108	93	非常勤嘱託の給与の見直し	給与労務課	表1のNo.6				阪神間各市や類似団体との比較において、適正な水準になるよう見直す。なお、同一労働同一賃金の議論を注視していく。	平成28年度着手	実施年度	年度	-	-	-	平成30年度	-	-	-	-	-	1,300	1,300
109	94	住居手当の適正化	給与労務課	表1のNo.7			平成28(2016)年度	国基準に合わせるため、経過措置を設けながら持家に係る住居手当を廃止する。(平成28年4月から毎年1500円ずつ段階的に引き下げ、平成30年度末で廃止する。)	平成28年度実施	住居手当の月額	円	4,500 (6,000)	3,000 (4,500)	1,500 (3,000)	0(1,500)	0(0)	0	13,518	27,036	40,554	48,312	48,312
110	95	超過勤務手当の縮減	給与労務課	表1のNo.7-2	○			適正な人員配置、ノー残業デーのさらなる徹底、業務の効率化、職員の意識改革のほか、具体的な対策を検討し、超過勤務手当の縮減に取り組む。	平成28年度実施	年間の時間外勤務及び管理職加給の削減率	%	-	5.0 △ 0.35	5.0 0.5	5.0 △ 0.76	5.0	5.0	20,000 △ 1,434	20,000 1,825	20,000 △ 3,165	20,000	20,000

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】2 質の高い行政運営の推進

【推進項目】(4) ICT(情報通信技術)の活用及び環境への配慮

【取組項目】① ICTを活用した情報共有の推進

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
111	96	オープンデー タ、ビッグデー タの活用	情報政策 課・広報 課					市の保有する情報を個人や企業等が利活用し やすい形で、市のホームページでオープンデー タとして積極的に公開していくとともに、ビッグデー タを活用した効果的かつ効率的な事業の実施に取り 組む。	平成28年 度実施	市オー プン デー タへの アクセ ス件 数	件	-	(目標 8,000) 8,527	(目標 8,500) 24,953	(目標 9,000) 33,106	(目標 9,500)	10,000	-	-	-	-	-
112	97	地域情報デー タベースの充実	市民協働 推進課					宝塚市地図情報に掲載されている公共施設情報 等と地域統計情報(まちづくり協議会別)を連携さ せ、地域統計情報(まちづくり協議会別)の充実を 図る。	平成30年 度	連携する地 図情報の数	-	-	4	4	4	4	4	5	-	-	-	-

【取組項目】② ICT活用体制、情報セキュリティ対策の充実

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
113	98	サーバ機器の 統合化	情報政策 課	表2の No.27	○			システム毎に個別にサーバ機器を調達していた が、仮想化技術によるハードウェアの集約により、 コストの削減とセキュリティの強化等を目指す。平 成28年度から順次サーバの統合化を行い、平成 32年度以降、毎年度4,000万円以上の効果額を見 込む。※目標効果額は、サーバ統合化(仮想化) を行わずに再構築やハードウェアのリプレースを 行った場合との比較※1～3次構築分(平成28年度 ～平成36年度)まで含む。	平成28年 度実施	効果額	千円	-	-	-	-	-	40,000	-	-	-	-	40,000
114	99	ICT施策の戦略 的な実施	情報政策 課					宝塚市のICTの推進に係る総合的な計画である 「宝塚市ICT戦略」に基づき、組織横断的・計画的 なICT施策の推進を行う。	平成28年 度実施	取組の目標 達成率	%	-	86.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
115	100	情報セキュリ ティの確保	情報政策 課					行政事務を行う上で、コンピュータネットワークを 活用した情報システムは必須であり、情報基盤の 信頼性、安全性、効率性を高め、安全で安定した サービスの提供を図る。	平成28年 度継続実 施	コンピ ュー タ ウィ ルス 感 染に よる 障 害 件 数	件	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-

【目指す方向性】2 質の高い行政運営の推進

【推進項目】(4) ICT(情報通信技術)の活用及び環境への配慮

【取組項目】③ 環境に配慮した行政運営

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点 取組 項目 の該 当 No.	新規 区 分	取組設定 年 度	取組終了 年 度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
116	101	電気設備の更新(照明器具のLED化)	管財課	表2の No.28	○			庁舎の電気設備の改修に併せて、蛍光灯をLED化する事で、電力の使用量、電気料金の削減を図る。	平成29年度検討、平成30年度以降実施	照明器具の 高効率化及 び節電による 電力使用量 の削減	%	100.0	98.0 98.0	98.0 95.1	97.0 94.8	95.0 (▲15%)	85.0	-	-	-	-	-
117	102	環境マネジメントシステムの運用	地域エネルギー課・各担当課					ECOオフィスプラン(第4次宝塚市地球温暖化対策実行計画)に基づき、市の事務事業における光熱水等や紙の使用量の削減、グリーン購入の推進等による環境負荷の低減を図る。	平成28年度継続実施	事務事業から排出される温室効果ガス排出量	t-CO2	21,141(基準年:平成22年度)	20,042 18,006	18,942 17,625	17,843 15,895	16,744	15,644(基準年から26%削減)	-	-	-	-	-
118	103	市有施設における率先した取組による市全体の環境負荷の低減	地域エネルギー課・管財課					本庁舎をはじめ、市有施設において高効率設備機器やシステムの導入など省エネルギー化を促進し、市民や事業者に適宜情報を公開することで省エネルギーの必要性を共有し、市域全体の環境負荷の低減を図る。	平成28年度継続実施	市域全体の温室効果ガス排出量	t-CO2	670,458(基準年:平成22年度)	640,958 730,824	611,458 741,370	581,958 689,439	552,457	522,957(基準年から22%削減)	-	-	-	-	-
119	104	学校版EMSの取組による経費削減	学校教育課					電気、水等の使用量減による経費削減、施設の長期使用、リサイクル、リユース、リデュース等の実施による購入経費の削減などを行うとともに、環境教育を推進し環境配慮への意識向上を図る。	平成28年度継続実施	平成25年度から平成27年度までの3年間平均の光熱水費使用量と比較し、2項目以上使用量が削減できた学校園	校園数	38	40 22	42 20	44 29	46	49	-	-	-	-	-

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(1) 財政健全化

【取組項目】① 財政健全化に向けての取組の推進

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
120	105	入札差金等執行管理の強化	財政課	表1の No.8	○			入札差金の留保など、予算の執行管理を強化することにより、歳出の削減を図る。	平成28年度継続実施	年間削減額	千円	-	350,000 481,600	350,000 448,413	450,000 450,830	450,000 450,000	350,000 481,600	350,000 448,413	450,000 450,830	450,000 450,000	450,000 450,000	
121	106	経常経費の抑制	財政課	表1の No.9	○			予算編成において経常経費の抑制を図る。平成29年度当初予算はマイナスシーリングを実施。平成31年度は予算編成における事務事業の精査など各部のマネジメントにより経常経費の抑制を図る。	平成28年度検討、平成29年度以降実施	年間削減額	千円	-	-	120,000 126,902	0 0	120,000 126,902	0 0	-	120,000 126,902	120,000 126,902	240,000 240,000	240,000 240,000
122	107	特別会計国民健康保険事業への繰出金の抑制	財政課・国民健康保険課	表1の No.10	○		平成30(2018)年度	保険給付の適正化及びデータヘルス計画に基づく保健事業等を進め、歳出の抑制を図りつつ、保険料の改定を含め、収納率の向上等により歳入を確保し、単年度財政の健全化・安定化を図ることにより、一般会計からの繰出金を抑制する。	平成28年度継続実施	繰出金の削減額	千円	-	130,000 137,958	174,000 174,000	-	-	130,000 137,958	174,000 174,000	-	-	-	-
123	108	特別職の職員の給与削減	給与労務課	表1の No.11	○		平成28(2016)年度	財源不足対策として平成28年度から平成30年度までの間、特別職の職員(市長、副市長、教育長、各事業管理者)の給料を5%～10%減額するとともに、その他手当についても減額する。	平成28年度実施	年間削減額	千円	-	5,932 5,932	5,932 5,932	5,932 5,932	-	-	5,932 5,932	5,932 5,932	5,932 5,932	-	-
124	109	給料の減額	給与労務課	表1の No.12	○		平成28(2016)年度	財源不足対策として平成28年度から平成30年度までの間、一般職の職員の給料を1.2%～4.5%減額する。	平成28年度実施	年間削減額	千円	-	143,433 137,148	143,433 139,132	143,433 142,164	-	-	143,433 137,148	143,433 139,132	143,433 142,164	-	-
125	110	地域手当の減額	給与労務課	表1の No.13	○		平成28(2016)年度	財源不足対策として平成28年度から平成30年度までの間、地域手当を1%減額する。(15%を14%とする)	平成28年度実施	年間削減額	千円	-	83,000 80,212	83,000 81,066	83,000 83,245	-	-	83,000 80,212	83,000 81,066	83,000 83,245	-	-
126	111	職務段階別加算の減額	給与労務課	表1の No.14	○		平成28(2016)年度	財源不足対策として平成28年度から平成30年度までの間、職務段階別加算を50%減額する。	平成28年度実施	年間削減額	千円	-	97,000 95,471	97,000 96,693	97,000 102,626	-	-	97,000 95,471	97,000 96,693	97,000 102,626	-	-
127	112	管理職手当の減額	給与労務課	表1の No.14-2	○		平成28(2016)年度	財源不足対策として平成28年度から平成30年度までの間、副課長級以上の管理職手当を5%減額する。	平成28年度実施	年間削減額	千円	-	6,500 6,700	6,500 6,861	6,500 7,256	-	-	6,500 6,700	6,500 6,861	6,500 7,256	-	-
128	113	管理職員特別勤務手当の減額	給与労務課	表1の No.14-3	○		平成28(2016)年度	財源不足対策として平成28年度から平成30年度までの間、管理職員特別勤務手当を50%減額する。	平成28年度実施	年間削減額	千円	-	4,800 2,422	4,800 2,750	4,800 3,056	-	-	4,800 2,422	4,800 2,750	4,800 3,056	-	-

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(1) 財政健全化

【取組項目】① 財政健全化に向けての取組の推進

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
129	114	財政健全化の 取組の推進	財政課					「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」 に基づく「健全化判断比率(4指標)」を現行数値以 下(H21決算)を目指すなど、適正水準に保持し、 早期健全化及び財政再生基準への悪化を回避す る。	平成28年 度継続実 施	実質赤字比 率	%	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	-	-	-	-	-
130										連結実質赤 字比率	%	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	0以下(黒 字)	-	-	-	-	-
131										実質公債費 比率	%	5.3	4.3 4.4	3.8 4.1	4.8 3.7	5.8	9.4以下	-	-	-	-	-
132										将来負担比 率	%	43.0	48.5 30.8	46.5 30.2	44.5 22.1	42.5	49以下	-	-	-	-	-
133	115	財政指標等の 改善	財政課				「健全化判断比率(4指標)」以外の財政指標等 についても、その動向を常に注視、点検し、必要に 応じた改善措置を講じるなど、財政の健全化を推 進する。	平成28年 度継続実 施	地方債残高 (普通会計、 交付税100% 算入の地方 債除く。)	億円	393	385 369	366 359	355 348	344	320以下	-	-	-	-	-	
134									財政調整基 金	億円	52	46 52	43 53	43 56	43	43以上	-	-	-	-		
135									実質単年度 収支(普通 会計)	千円	39,696	0以上 △1,571	0以上 349,503	0以上 97,685	0以上	0以上	-	-	-	-		
136									経常収支比 率(普通会 計)	%	96.3	96.0 96.9	95.5 95.7	95.0 95.8	94.5	95以下	-	-	-	-		
137	116	市債の利子負 担の軽減	財政課				銀行借り入れの市債の繰上償還により利子負担 を軽減する。	平成28年 度継続実 施	利子削減額	千円	-	17,061 6,951	-	2,965 0	-	-	17,061 6,951	-	2,965 0	-	-	
138	117	国・県補助金な どの特定財源 の確保	財政課・ 各担当課				国庫補助金、県補助金などの財源の確保を図る。	平成28年 度継続実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
139	118	中期財政見通し の策定	財政課				国の制度変更や社会経済情勢、本市の実情を 踏まえながら、中期的な収支の見通しを展望し、 計画的な財政運営に役立てるため、財政見通しを 策定し、公表する。	平成28年 度継続実 施	年間策定回 数	回	2	1 1	2 2	2 2	2 2	2 2	-	-	-	-	-	

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(1) 財政健全化

【取組項目】② 市税等債権の確保

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
140	119	市税等の収納 対策の充実	市税収納 課	表1の No.15				市税等について、口座振替の勧奨、電話による 納税案内や滞納整理の強化等により、収納率を アップする	平成28年 度継続実 施	市税現年度 分収納率	%	98.7	98.8 98.8	98.9 98.9	99.0 99.1	99.1	99.2	127,600	232,064	311,429	390,793	470,158
141										市税滞納繰 越分収納率	%	18.5	18.6 19.1	19.5 25.0	20.4 24.9	21.3	22.2					
142										国保税現年 度分収納率	%	91.0	91.1 91.1	91.3 91.4	91.5 92.6	91.7	91.9					
143										国保税滞納 繰越分収納 率	%	14.0	14.2 14.0	14.7 15.8	15.2 18.5	15.7	16.2					
144	120	市営住宅使用 料収納対策の 充実	住まい政 策課	表1の No.16			現在、入居者の家賃等使用料は指定管理者が 収納し、退去者の家賃等滞納使用料については、 退去時の状況を勘案し、必要に応じて弁護士法人 に委託して収納している。今後、入居者で滞納家 賃等があり、納付相談に応じないなどの事案につ いては、弁護士に収納業務を委託することにより、 収納対策を強化し、収納率の向上を図ることを検 討する。	平成28年 度継続実 施	現年度収納 率	%	96.0	96.5 96.4	97.5 96.8	98.0 97.0	98.0 (平成30年 度)	98.0	14,700	15,997	20,104	20,104	20,104	
145									過年度収納 率	%	7.5	8.7 8.7	10.0 6.7	12.0 7.4	12.0 (平成30年 度)	12.0	11,136	9,312	10,553			
146	121	奨学金の収納 対策の充実	学事課	表1の No.17	○		奨学金の滞納償還金を改善することを目的に、 高額滞納者で催告に応じないなどの徴収困難者 に対する収納事務を債権回収会社に委託し、収納 対策を強化することにより、収納率向上を図る。	平成28年 度実施	現年度収納 率	%	66.9	67.2 77.0	67.2 77.25	67.2 84.31	67.2	67.2	100	156	156	156	156	
147									過年度収納 率	%	13.6	13.9 13.6	13.9 12.46	13.9 12.62	13.9	13.9	2,088	2,098	3,392			
148	122	生活保護返戻 金回収事務の 適正な実施	生活援護 課	表2の No.29			被保護者が収入申告を確実にし、返還金が発 生しないように指導するとともに、既存の返還金対 象者については、返済が不履行とならないように 債権管理を適切に行う。	平成28年 度継続実 施	現年度収納 率	%	35.1	36.0 48.4	36.0 64.4	36.0 58.9	36.0	36.0	750	750	750	750	750	
149									過年度収納 率	%	10.9	9.0 7.8	11.0 6.8	11.0 7.4	11.0	11.0	3,245	16,060	8,638			
150	123	保育所保育料 収納対策の充 実	保育事業 課	表2の No.30			保育料未納者に対し、夜間電話催促を行って おり、市立保育所では、保育所長から口頭により、 支払いを促している。未納額が高額になっている者 に対しては、夜間自宅訪問を実施し、支払いを促 している。今後も収納対策を充実させ、収納率向 上を図る。	平成28年 度継続実 施	現年度収納 率	%	98.9	99.0 99.01	99.0 98.83	99.0 98.86	99.0	99.0	1,386	1,386	1,386	1,386	1,386	
151									過年度収納 率	%	10.6	11.0 12.30	11.0 15.27	11.0 17.27	11.0	11.0	2,290	1,924	3,426			
152	124	学校給食費の 収納対策の充 実	学校給食 課	表2の No.31	○		平成28年度から学校給食費を公会計化したこと から、債権管理、収納対策を充実させる。そのた め、支払督促を行うなど、給食費の滞納額に係る 収納率向上に取り組む。	平成28年 度実施	現年度収納 率	%	99.8	99.8 99.0	99.8 99.3	99.8 99.3	99.8	99.8	- △ 6,475	- △ 3,940	- △ 3,864	-	-	
153	125	債権管理条例、 マニュアルに基 づく債権管理の 取組	総務部総 務課・各 課				債権管理条例、債権管理マニュアルなどに基 づき、債権の適切な管理を行う。	平成28年 度継続実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

一般会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(1) 財政健全化

【取組項目】③ 歳入の創出など歳入確保の取組

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
154	126	ふるさと納税の 推進	政策推進 課・財政 課	表1の No.18	○			ふるさと納税制度の周知や、記念品の充実などにより、ふるさと納税の推進に取り組む。	平成28年 度実施	ふるさと納税 額	千円	81,860	90,000 99,992	100,000 127,902	110,000 158,557	120,000	130,000	90,000 99,992	100,000 127,902	110,000 158,557	120,000	130,000
155	127	ネーミングライ ツの実施	行革推進 課・道路 管理課・ 関係各課	表2の No.32				橋梁、トンネルなどを含む公共施設に、新たな愛称を命名する権利(ネーミングライツ)を取得するスポンサーを募集し、市有財産の有効活用により、新たな財源の確保を図る。	平成28年 度検討、 平成29年 度以降実 施	ネーミングラ イツ実施箇 所	箇所数	-	-	1 0	4 4	4	3	-	150 0	1,888 1,888	2,023	528
156	128	公民館駐車場の 有料化	社会教育 課・東公 民館・西 公民館・ 中央公民 館	表2の No.33	○		平成29 (2017)年 度	新中央公民館の整備により、新たな公民館の利用者と周辺施設利用者との公平性の観点から新中央公民館駐車場の有料化の検討にあわせて、東・西公民館(図書館を含む。)の駐車場の有料化について検討する。	平成29年 度実施	実施年度	年度	-	-	平成29年 度 平成29年 度	-	-	-	2,285 793	5,483 2,974	5,483	5,483	
157	129	新たな媒体への 広告掲載の取 組	行革推進 課・関係 各課					市が保有する各種財産を広告媒体として有効に活用し、有料広告事業の拡大を図ることで、新たな財源確保に取り組む。	平成28年 度継続実 施	新たな広告 媒体への掲 載件数	件	-	-	1 0	1 1	2	2	-	-	- 60	-	-
158	130	予算書等の冊 子の販売	財政課		○			予算書及び予算説明書の配付を希望する事業者に対して、有償で配付することにより、新たな歳入を確保する。	平成28年 度実施	年間収入額	千円	-	7 0	7 6	7 3	7	7	7 0	7 6	7 3	7	7
159	131	広報たからづ か、市ホーム ページへの有料 広告掲載	広報課					現在、広報たからづかと市ホームページに有料広告を掲載しており、広告代理業務を委託している。委託契約の条件として最低買い取り保証額を設定しているが、歳入の増大を図るべく、契約内容の見直しなどに取り組む。	平成28年 度継続実 施	掲載件数	件	広報たから づか36件 市ホーム ページ180 件	広報たから づか36件 市ホーム ページ180 件	広報たから づか36件 市ホーム ページ180 件	広報たから づか36件 市ホーム ページ180 件	広報たから づか36件 市ホーム ページ180 件	広報たから づか36件 市ホーム ページ180 件	5,852	5,852	5,852	5,852	5,852
160	132	インターネット オークションに よる公有財産 売却	会計課					各物品管理者より売却の意思決定がされた物品をインターネットオークションにより売却する。市として不要となった物品を売却することにより、新たな歳入を確保する。	平成28年 度継続実 施	年間の売却 金額	千円	-	1,000 1,828	1,000 0	1,000 666	1,000	1,000	1,000 1,828	1,000 0	1,000 666	1,000	1,000
161	133	自動販売機設 置の検討	行革推進 課・公園 河川課・ 各施設所 管課					利用者へのサービス向上と新たな歳入確保のため、公共施設内に清涼飲料水の自動販売機の設置を検討する。	平成28年 度実施	新たな設置 台数	台	-	-	1 5	1 1	5	5	-	300 663	300 934	1,500	1,500

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進																							
【推進項目】(3) 外郭団体等の経営健全化																							
【取組項目】① 外郭団体等の経営健全化及びあり方の検討																							
表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
162	134	第三セクター等の経営健全化及びあり方の検討	政策推進課					外郭団体と市の所管課による相互評価など、外郭団体の経営評価シートを作成し、各団体の経営等の状況を更に把握するとともに、経営等の状況を公開する。各団体の経営等の状況のチェックを行い、経営改善策や、公益性等を考慮し、存続も含めたあり方について、第三セクター等経営検討会及び土地開発公社経営健全化検討会を適宜開催し、検討を行う。	平成28年度継続実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
163	135	土地開発公社における経営健全化	政策推進課・管財課		○			平成28年度から平成32年度までの取組を掲げる第4次土地開発公社経営健全化計画に基づき、5年以上の長期保有となっている公社所有地の計画的な処分に取り組み、経営健全化を推進する。	平成28年度実施	土地開発公社 用地保有額	百万円	5,516	3,944	3,383	2,516	1,370	666	-	-	3	3	-	-

	取組細項目数	取組が終了した項目数	5ヵ年効果見込総額 ① + ② + ③ + ④ + ⑤		①	②	③	④	⑤
					平成28年度 見込額 効果額	平成29年度 見込額 効果額	平成30年度 見込額 効果額	令和元年度 見込額	令和2年度 見込額
一般会計	143	28	(a) 重点取組項目 表1の合計	6,707,204 千円	1,096,083	1,389,418	1,422,408	1,338,065	1,461,230
			(b) 重点取組項目 表2の合計	1,758,668 千円	1,233,175	1,635,193	1,692,312	614,101	675,583
			(c) 重点取組項目以外の合計	189,933 千円	66,706	218,979	442,778	65,320	75,974
			(a) + (b) + (c)	約86.6億円←	1,384,964	1,860,532	2,152,835	2,017,486	2,212,787

特別会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(1) 財政健全化

【取組項目】① 財政健全化に向けての取組の推進

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
164	137	国民健康保険 財政の健全化・ 安定化	国民健康 保険課	表1-2 のNo.1	○			保険給付の適正化及びデータヘルス計画に基づ く保健事業等を進め、歳出の抑制を図りつつ、保 険税の改定、収納率の向上等により歳入を確保 し、財政の健全化・安定化を図る。(目標効果額に ついては、平成28年度は税率改定による収納見 込額を、平成29年度は収支予測に基づく見込額を 記載。なお、平成30年度以降は県へ広域化される ため効果額が大きく変動する可能性がある。)  ※国保財政は平成28年度決算で収支が黒字とな り、平成27年度時点での赤字見込みも含め累積 赤字は解消となった。 平成30年度以降の目標・効果見込額について は、計画当時の予測で設定していたものの、広域 化により財政運営は県との共同となり、県から毎 年示される国保事業費納付金に基づき保険税を 検討することから、その構造自体が大きく変わっ ている。 さらに、被保険者数の減少が進み、保険税収入 増が見込めない中、広域化に伴う経過的な不確定 要因も多く、税率を据え置いている。 そのため、ここ数年の納付金の動向を注視したう えで、将来の財政運営と保険税改定を見極めてい く必要がある。	平成28年 度継続実 施	税率改定に よる増収額	千円	-	130,000	304,000	-	-	-	130,000	304,000	-	-	-
165	184	農業共済事業 の廃止による人 件費削減	農政課		○	令和元 (2019)年 度		令和2年4月1日の農業共済事業の県下1組合 化に向けて、市町等から新組合への事務の引き 継ぎ方法や、各市町等で異なる賦課金や報酬等 の単価統一、新体制での事業の進め方等につい て、県および各市町等と具体的な協議を進める。 また、令和2年3月31日をもって宝塚市農業共済 条例及び特別会計を廃止するため、令和元年12 月議会において廃止案を提案する。	令和2年 度	人件費	千円	-	-	-	-	-	9,000	-	-	-	9,000	

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(2) 効果的で効率的な公共サービスの提供

【取組項目】① 事務事業の見直し

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)							
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額	
166	136	介護給付の適 正化	介護保険 課	表1-2 のNo.2	○			介護給付の適正化を図るため、厚生労働省や他 市を参考に作成した「給付適正化、ケアプラン点 検・医療情報との実合・縦覧点検マニュアル(平成 27年3月)」に基づき、個別のケアプラン(サービス 計画書)の内容、介護報酬の請求の内容を確認し、不 適切なサービスが提供されていると思われるもの があれば、個別に事業者を確認し、給付費の適 正化を図る。必要に応じて、ケアマネジャーや 事業所へ指導・監査等も併せて実施する。適正化 を進めることで監査を実施する団体を減らせるよ う、取り組む。	平成28年 度継続実 施	介護給付適 正化事業に よる過誤件 数	件数	47	54	43	32	21	10	-	-	-	-	262	204

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(1) 財政健全化

【取組項目】② 市税等債権の確保

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
167	138	介護保険料の 収納対策の充実	介護保険課	表1-2 のNo.3				電話催告や訪問徴収等の効果的な実施により、 収納率の向上を図る。	平成28年度 継続実施	現年度収納率	%	98.9	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
168										過年度収納率	%	13.5	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	9,777	13,699		

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(3) 公共施設マネジメントの推進

【取組項目】② 市有財産の有効活用

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
169	73	市営長尾山霊園の 空き区画の貸出し	生活環境課	表2の No.24	○			市営長尾山霊園の空き区画を再貸出しするために、 使用料、管理料の額、徴収方法等、貸出しの ための諸条件について整理し、平成29年度から再 貸出を行う。(平成30年度から特別会計に変更)	平成28年度 着手、 平成29年度 以降実施	再貸出区画数	区画数 (累計)	-	-	28	56	85	114	-	33,300	33,300	34,800	34,800
														120	152			137,190	37,980			

【取組項目】③ 指定管理者制度の活用

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
170	78	火葬場、霊園への 指定管理者 制度の導入の 検討	生活環境課		○			市営霊園のあり方の見直しや、市営長尾山霊園 の空き区画の貸出しの状況を踏まえ、火葬場、 霊園について、市民サービス向上と費用負担の軽減 を図ることを目的に今後、指定管理者制度の導入 とその導入年度などについて検討する。(霊園事 業は平成30年度から特別会計に変更)	平成29年度 以降検討	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

項目数計	取組が終了した項目数	5ヵ年効果見込総額 ① + ② + ③ + ④ + ⑤			① 平成28年度 見込額 効果額	② 平成29年度 見込額 効果額	③ 平成30年度 見込額 効果額	④ 令和元年度 見込額	⑤ 令和2年度 見込額	
		特別会計国民健康保険事業	1	0	約4.3億円←	434,000	千円	130,000 137,958	304,000 169,589	-
特別会計介護保険事業	2	0	約0.4億円←	35,500	千円	7,100 9,777	7,100 13,961	7,100 24,959	7,100	7,100
特別会計宝塚市営霊園事業	2	0	約1.0億円←	102,900	千円			33,300 37,980	34,800	34,800
特別会計農業共済事業	1	0	約0.1億円←	9,000	千円	-	-	-	-	9,000
特別会計合計			約5.8億円←	581,400	千円	137,100 147,735	311,100 183,550	40,400 62,939	41,900	50,900

公営企業会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(2) 効果的で効率的な公共サービスの提供

【取組項目】④ 広域行政(連携)の推進

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)								
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額		
171	56	水道事業における広域連携の検討	経営企画課		○			近隣都市等との連携による施設の共同利用化(ハード面)、管理の一体化やシステムの共同化(ソフト面)などについて検討する。	平成28年度 検討	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
172	57	下水道事業における広域連携の検討	経営企画課		○			近隣都市等との連携による施設の共同利用化(ハード面)、管理の一体化やシステムの共同化(ソフト面)などについて検討する。	平成28年度 検討	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(2) 地方公営企業の経営健全化

【取組項目】① 地方公営企業の経営健全化の推進

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)									
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額			
173	139	経営戦略に基づく経営健全化(水道事業会計)	経営企画課	表1-3のNo.1				平成28年度早期に策定する宝塚市水道事業経営戦略に基づき、経営健全化を推進する。	平成28年度 実施	水道事業の 経常収支比率	%	104.1	102.9 107.0	93.2 100.8	94.2 97.3										
174	140	経営戦略に基づく経営健全化(水道事業会計)(職員配置の見直し)	上下水道局総務課	表1-3のNo.1				職員配置の見直し	平成28年度 実施	人件費削減 額	千円	-	8,000 5,632	8,000 6,167	24,000 14,642	40,000	40,000	8,000 5,632	8,000 6,167	24,000 14,642	40,000	40,000			
175	141	経営戦略に基づく経営健全化(水道事業会計)(民間活用)	上下水道局総務課	表1-3のNo.1				アウトソーシングの推進(平成28年度:水道配水施設管理業務委託、生瀬浄水場完全委託、平成29年度:料金システム等の包括委託の拡大、小浜浄水場夜間等運転管理業務委託、平成31年度:惣川浄水場夜間等運転管理業務委託)	平成28年度 実施	効果額	千円	-	4,800 6,986	42,055 16,491	42,055 16,215	59,310	59,310	4,800 6,986	42,055 16,491	42,055 16,215	59,310	59,310			
176	142	経営戦略に基づく経営健全化(水道事業会計)(公営企業償還年限の延長)	経営企画課	表1-3のNo.1				経営システム改革の推進(公営企業償還年限の延長)(償還年限延長の効果は、5年据置以降から見込まれる。)	平成28年度 継続実施	効果額	千円	-	0	0	0	0	32,369	-	-	-	-	-	32,369		
177	143	経営戦略に基づく経営健全化(水道事業会計)(施設、財産の有効活用)	上下水道局総務課	表1-3のNo.1				施設、財産の有効活用を図る(小林・亀井浄水場廃止、深谷貯水池用途廃止等)。	平成30年度 実施	削減額	千円	-	0	0	337,030 241,140	337,030	337,030	-	-	337,030 241,140	337,030	337,030			
178	144	経営戦略に基づく経営健全化(水道事業会計)(料金収入の確保)	上下水道局総務課	表1-3のNo.1				料金収入の確保を図る(未収金対策、口座振替率向上による収納率の向上)。	平成28年度 継続実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
179	145	経営戦略に基づく経営健全化(水道事業会計)(給与減額)	上下水道局総務課	表1-3のNo.1				平成28(2016)年度 人件費削減(重点取組項目の表1「給与の適正化及び給与・手当の減額」による水道事業会計における減額分)	平成28年度 実施	削減額	千円	-	25,761 23,896	26,787 25,460	27,813 26,792			3,667	3,667	25,761 23,896	26,787 25,460	27,813 26,792	3,667	3,667	

公営企業会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(1) 市民参画と協働による行財政運営の推進

【取組項目】④ 協働の推進(地域団体や市民活動団体との協働、地域ごとのまちづくりに関する取組などのうち、主なものを掲載)

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
180	36	雨水貯留施設 の設置の推進	下水道課		○			公共下水道雨水施設整備だけでなく、市民が自 宅に雨水貯留施設を設置する費用の助成を行うこ とで、施設設置を支援し、浸水被害の軽減を図る。	平成28年 度継続実 施	雨水貯留施 設設置住宅 数	住宅数	361	376 376	400 392	425 408	450	486	-	-	-	-	-

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(2) 地方公営企業の経営健全化

【取組項目】① 地方公営企業の経営健全化の推進

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
181	147	経営戦略に基 づく経営健全化 (下水道事業会 計)	経営企画 課	表1-3 のNo.2				平成28年度早期に策定する宝塚市下水道事業 経営戦略に基づき、経営健全化を推進する。	平成28年 度実施	下水道事業 の経常収支 比率	%	103.5	106.5 113.4	111.9 113.5	112.8 113.6	111.2	111.6	-	-	-	-	-
182	148	経営戦略に基 づく経営健全化 (下水道事業会 計)(職員配置の 見直し)	上下水道 局総務課	表1-3 のNo.2			平成28 (2016)年 度	職員配置の見直し	平成28年 度実施	人件費削減 額	千円	-	8,000 6,148	8,000 6,148	8,000 6,148	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
183	149	経営戦略に基 づく経営健全化 (下水道事業会 計)(民間活用)	上下水道 局総務課	表1-3 のNo.2				アウトソーシングの推進(管路維持管理業務包 括委託)	平成29年 度以降実 施	効果額	千円	-	-	-	100,000 0	100,000	100,000	-	-	100,000 0	100,000	100,000
184	150	経営戦略に基 づく経営健全化 (下水道事業会 計)(公営企業債 償還年限の延 長)	経営企画 課	表1-3 のNo.2				経営システム改革の推進(公営企業債償還年限 の延長)(償還年限延長の効果は、5年据置以降 から見込まれる。)	平成28年 度継続実 施	効果額	千円	-	-	-	-	-	4,510	-	-	-	-	4,510
185	151	経営戦略に基 づく経営健全化 (下水道事業会 計)(料金収入の 確保)	上下水道 局総務課	表1-3 のNo.2				料金収入の確保を図る(未収金対策、口座振替 率向上による収納率の向上)。	平成28年 度継続実 施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
186	152	経営戦略に基 づく経営健全化 (下水道事業会 計)(給与減額)	上下水道 局総務課	表1-3 のNo.2			平成28 (2016)年 度	人件費削減(重点取組項目の表1「給与の適正 化及び給与・手当の減額」による下水道事業会計 における減額分)	平成28年 度実施	削減額	千円	-	6,231 5,834	6,501 7,055	6,771 7,235	965	965	6,231 5,834	6,501 7,055	6,771 7,235	965	965
187	155	下水道事業会 計への繰出金 の増額	経営企画 課	表1-3 のNo. 2-2	○		平成30 (2018)年 度	一般会計から宝塚市下水道事業会計への法定 外繰出金を増額して財政支援を行う。平成28年 度から平成30年度までの3力年に、一般会計から 宝塚市下水道事業会計へ各年7,000万円の繰出 金を増額する。	平成28年 度実施	繰出金の増 額分	千円	-	70,000 70,000	70,000 70,000	70,000 70,000	-	-	70,000 70,000	70,000 70,000	70,000 70,000	-	-

公営企業会計の取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(2) 地方公営企業の経営健全化

【取組項目】① 地方公営企業の経営健全化の推進

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
188	156	下水道事業会計への出資	経営企画課	表1-3のNo.2-3	○		平成28(2016)年度	宝塚市水道事業会計から宝塚市下水道事業会計へ出資して財政支援を行う。平成28年度に宝塚市水道事業会計から宝塚市下水道事業会計へ2.1億円を出資する。	平成28年度実施	出資額	千円	-	210,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
189	157	下水道使用料の改定	上下水道局総務課	表1-3のNo.3				水道事業会計から平成26年度以降、合計9億円の長期借入を行う予定としており、下水道使用料を改定しなければ、今後も資金不足が毎年7億円ずつ増大する。経営健全化には、(1)経費削減のための企業努力、(2)下水道使用料の改定、(3)一般会計からの繰出しの増額を行う必要があり、平成28年6月から平均で18.5パーセントの改定を行った。今後、平成31年度からの料金改定について検討する。	平成28年度実施、平成30年度検討	値上げによる年間増収額	千円	-	291,600	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	
													313,822	377,778	377,778	377,778	377,778	377,778	377,778	377,778	377,778	

【目指す方向性】1 最適な公共サービスの追求

【推進項目】(1) 市民参画と協働による行財政運営の推進

【取組項目】④ 協働の推進 (地域団体や市民活動団体との協働、地域ごとのまちづくりに関する取組などのうち、主なものを掲載)

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
190	37	市立病院におけるボランティア活動の推進	市立病院経営統括部		○			ボランティアの協力により、患者さんへの検査・外来案内や、縫製、緩和ケア病棟でのイベントの支援などを行う。	平成28年度継続実施	ボランティアの登録人数	人	66	73	70	72	74	76	-	-	-	-	-
													73	66	72							

【推進項目】(2) 効果的で効率的な公共サービスの提供

【取組項目】④ 広域行政(連携)の推進

表示番号	取組項目No.	取組細項目	担当課	重点取組項目の該当No.	新規区分	取組設定年度	取組終了年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
191	58	市立伊丹病院と宝塚市立病院との産婦人科連携	市立病院経営統括部		○			産婦人科医師不足の状況で、周産期医療における自治体病院が果たすべき役割を実行するため、市立伊丹病院と連携する。	平成28年度継続実施	宝塚市民の伊丹病院産婦人科の救急外来受診件数	人	-	55	40	60	80	100	-	-	-	-	-
													55	44	43							

【目指す方向性】3 健全な財政運営の推進

【推進項目】(2) 地方公営企業の経営健全化

【取組項目】① 地方公営企業の経営健全化の推進

表示 番号	取組項 目No.	取組細項目	担当課	重点取 組項目 の該当 No.	新規 区分	取組設定 年度	取組終了 年度	内容	実施年度	指標						効果額(単位:千円)						
										定義	単位	H27現状	H28目標 H28結果	H29目標 H29結果	H30目標 H30結果	R01目標	R02目標	H28見込額 H28効果額	H29見込額 H29効果額	H30見込額 H30効果額	R01見込額	R02見込額
192	175	宝塚市立病院 改革プラン2017 に基づく経営健 全化(救急医療 の推進)	市立病院 経営統括 部	表1-3 のNo.4		平成30 (2018)年 度		夜間休日の医師体制の改善や、職員連携を強化し、救急車の断わりを減少させる。	平成28年 度実施	救急車断わり 件数(件)	件	-	-	-	860	820	800	-	-	-	-	-
193	176	宝塚市立病院 改革プラン2017 に基づく経営健 全化(がん医療 の推進)	市立病院 経営統括 部	表1-3 のNo.4		平成30 (2018)年 度		放射線治療を円滑に開始させ、放射線治療実施 件数増に取り組む。より安全ながん化学療法を提 供する。がん手術の増加に取り組む。がん患者支 援のためのがん相談を推進するとともに、医師の 緩和ケア研修受講を推進する。	平成28年 度実施	年間放射線 治療件数	件	-	-	-	200 206	250	300	-	-	-	-	-
194										外来化学療 法年間実施 件数	件	-	-	-	3,000 2,686	3,350	3,700	-	-	-	-	-
195										年間がん手 術件数	件	-	-	-	700 576	750	750	-	-	-	-	-
196										がん患者指 導管理料1 算定件数	件	-	-	-	310 567	330	350	-	-	-	-	-
197	177	宝塚市立病院 改革プラン2017 に基づく経営健 全化(地域連携 強化)	市立病院 経営統括 部	表1-3 のNo.4		平成30 (2018)年 度	退院支援を進める。特に緊急・救急入院をされた 患者さんへの支援を推進する。適切な診療情報提 供書、院内勉強会等による情報提供を推進し、地 域の医療機関、介護事業者の満足度を高めること で円滑な退院支援に繋いでいく。	平成28年 度実施	入退院支援 加算1算定 件数(件)	件	-	-	-	1,200 1,104	1,300	1,300	-	-	-	-	-	
198									紹介患者率	%	57.6	58.1 62.1	58.6 62.0	64.0 66.8	65.0	66.0	-	-	-	-		
199									逆紹介率(%)	%	-	-	-	110.0 98.4	110.0	110.0	-	-	-	-	-	
200	178	宝塚市立病院 改革プラン2017 に基づく経営健 全化(給与費削 減)	市立病院 経営統括 部	表1-3 のNo.4		平成30 (2018)年 度	診療報酬の抑制により医業収益の増収が望めない 現状を勘案し、給与費の削減に取り組む。人件 費削減(重点取組項目の表1「給与の適正化及び 給与・手当の減額」による病院事業会計における 減額分)	平成28年 度実施	医業収益対 給与費比率	%	-	-	-	59.4 61.9	58.6	57.9	-	-	-	-	-	
201									削減額	千円	-	122,942 122,942	126,416 126,416	129,890 129,890	12,465	12,465	122,942 122,942	126,416 126,416	129,890 129,890	12,465	12,465	
202	179	宝塚市立病院 改革プラン2017 に基づく経営健 全化(材料費削 減)	市立病院 経営統括 部	表1-3 のNo.4		平成30 (2018)年 度	薬品費削減に向け、先発、後発医薬品の適正使 用を推進するとともに、ポリファーマシー対策に 向けて取り組む。診療材料費の削減に向けて、特 に手術材料の適正化に向けて医師主導で取り組 むとともに、在庫量の削減を推進する。	平成28年 度実施	医業収益対 材料費比率 (H31から消 費増税あり)	%	-	-	-	23.6 21.5	23.8	24.1	-	-	-	-	-	
203	180	宝塚市立病院 改革プラン2017 に基づく経営健 全化(収益の確 保)	市立病院 経営統括 部	表1-3 のNo.4		平成30 (2018)年 度	救急医療、がん医療、地域連携の取組を推進し、 入院患者数の維持に努める。経常損益を継続的 に黒字化する。	平成28年 度実施	稼働病床利 用率	%	85.7	87.3 87.3	86.8 87.9	90.0 83.1	90.0	90.0	-	-	-	-	-	
204									市立病院の 経常収支比 率	%	98.9	99.0 97.9	100.0 98.5	100.0 95.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	
205	181	宝塚市立病院 改革プラン2017 に基づく経営健 全化(医師の確 保)	市立病院 経営統括 部	表1-3 のNo.4		平成30 (2018)年 度	大学との連携が確立されておらず、医師確保に課 題のある診療科について、関連大学との連携強化 を推進することで、課題解決を行っていく。	平成28年 度実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第2次宝塚市行財政運営アクションプラン(平成28年度～令和2年度)

公営企業会計の取組

新規区分に「○」のないものは、第1次行財政運営アクションプラン(平成23～27年度)から継続した取組

平成29年度(2017年度)以降に追加した取組は、取組設定年度に追加した年度を掲載

	項目数計	取組が終了した項目		5カ年効果見込総額 ① + ② + ③ + ④ + ⑤			①	②	③	④	⑤
				平成28年度 見込額 効果額	平成29年度 見込額 効果額	平成30年度 見込額 効果額	令和元年度 見込額	令和2年度 見込額			
水道事業会計	8	1		約14.6億円←	1,458,684	千円	38,561 36,514	76,842 48,118	430,898 298,789	440,007	472,376
下水道事業会計	11	4		約22.7億円←	2,267,543	千円	375,831 395,804	434,501 460,981	534,771 461,161	458,965	463,475
病院事業会計	9	0		約4.0億円←	404,178	千円	122,942 122,942	126,416 126,416	129,890 129,890	12,465	12,465
公営企業会計合計				約41.3億円←	4,130,405	千円	537,334 555,260	637,759 635,515	1,095,559 889,840	911,437	948,316

作成：宝塚市企画経営部 行財政改革室 行革推進課

〒665-8665 宝塚市東洋町1-1

Tel：0797-77-4571/Fax：0797-72-1419

e-mail：m-takarazuka0282@city.takarazuka.lg.jp